

やっさもっさ新聞は三原を元気にする多くの企業様に支えられ発行しております。

有限会社IWILL土居写場  
株式会社赤石硝子建材  
赤谷木材株式会社  
有限会社安芸緑化機材  
公認会計士浅田勝彦事務所  
池田電  
岩西自動車  
有限会社上田製版印刷所  
株式会社ウツミ  
宇野事務所  
株式会社エヌワイティグループ  
株式会社大石製作所  
大下建設株式会社  
大東印刷株式会社  
オートドリーム三原  
株式会社小川電気工事  
奥田自動車  
有限会社お茶の平野園  
小野税理士事務所  
有限会社笠下工務店  
有限会社片山自動車工業  
勝原不動産株式会社  
株式会社勝村商店  
勝村木材株式会社  
株式会社ガルバ興業三原工場  
寿司・割烹かわ蝶  
有限会社河本商店  
株式会社関西通商店  
有限会社完山商店  
共有立電機産業株式会社  
共有立共和設計  
共和不動産株式会社  
株式会社桐島電気サービス  
熊野開発株式会社  
株式会社倉橋匠栄堂  
警備保障イーグル88  
医療法人仁康会小泉病院  
広愛産業株式会社  
株式会社コグマヤ  
極楽寺  
小松木工株式会社  
株式会社サービスセンター  
株式会社阪井養魚場  
株式会社坂元鉄工業  
株式会社笹井産業  
有限会社サニー住設  
株式会社SunEigh  
三陽環境管理株式会社  
山陽建設株式会社  
山陽製粉株式会社  
有限会社シー・イー・サプライ

CBテクノロジー株式会社  
しまなみ信用金庫  
株式会社住創  
順勝寺  
株式会社正田文華堂  
株式会社スミダ  
株式会社セイム  
セブンイレブン世羅町店  
惣田司法書士事務所  
ダイヤモンドゴルフ練習場  
タカシンホーム  
瀧宮神社  
有限会社タクトコーポレーション  
竹本自動車  
田中運輸株式会社  
田辺製麺工場  
有限会社多森薬局  
有限会社中央地所  
有限会社中国補聴器  
くし焼き  
有限会社寺迫組  
有限会社東亜不動産  
トータルサポートTSC  
和食処登喜将  
富野機工株式会社三原営業所  
株式会社中野産業社  
なぎさ医院内科・皮膚科  
株式会社ナンバ洋服店  
有限会社西岡設備店  
にった文具  
日本生命保険相互会社  
NEJIR  
有限会社野竹電工  
株式会社八天堂  
株式会社原アルミ建材  
ハローランチ株式会社本郷給食センター  
光自動車ガラス専門店  
松山泰三税理士事務所  
平田歯科医院  
有限会社広興  
広島電気工事株式会社  
ファミリーレストラン太陽樹高須店  
農事組合法人風舎  
株式会社富久屋  
福山工業株式会社  
株式会社藤井  
藤井建設株式会社  
藤井稔久税理士事務所  
富士金属工業株式会社  
株式会社BRIGHT

フジグラン三原  
株式会社ブリッジ  
株式会社古川製作所  
株式会社古林電機  
フルモト建機株式会社  
アーサロンにしはら  
ホンダカーズ三原皆実店  
有限会社本田石材工業  
株式会社まじま製麺社  
益谷建設株式会社  
松尾社会保険労務士事務所  
丸源ラーメン三原  
株式会社丸善商會  
株式会社みどり商會  
有限会社みどり書店  
みどり幼稚園  
瀬戸内開発株式会社  
三原郷心  
三原共同生コン株式会社  
株式会社三原国際ホテル  
株式会社三原シティホテル  
有限会社三原松操局  
三原末広簡易郵便社  
三原タイヤ株式会社  
M・C・A・T三原テレビ  
三原電機有限会社  
株式会社三原美装社  
三好印刷株式会社  
有限会社村上鉄工所  
株式会社もみの木量産  
盛影塗装株式会社  
もりきんデザイン  
株式会社森剛  
有限会社モリタ美研  
上菓 三原の味です。名物です  
献銘 ヤッサ饅頭本舗  
保道建設株式会社  
株式会社やっさ石油  
やまさ建設株式会社  
山田記念病院  
株式会社ヤマナ  
山根法律会計事務所  
よしながふとん  
由水酒販株式会社  
夜船司法書士事務所  
下町の居酒屋六文  
株式会社若山組  
有限会社渡辺商會  
渡辺土地建物有限会社

# 新三原市長が掲げた7つの柱



## 納得感と ワクワク感をもてる まちづくりを

- ～略歴～
- 1992年3月 中之町幼稚園 卒園
  - 1998年3月 広島大学附属三原小学校 卒業
  - 2001年3月 広島大学附属三原中学校 卒業
  - 2004年3月 広島大学附属福山高等学校 卒業
  - 2008年3月 京都大学工学部工業化学科 卒業
  - 2011年3月 京都大学大学院工学研究科修士課程 修了
  - 2011年3月 日東電工株式会社 入社
  - 2014年3月 日東電工株式会社 退職
  - 2014年4月 松下政経塾 入塾
  - 2018年3月 松下政経塾 卒業
  - 2018年4月 一般社団法人RoFrEC設立 代表理事就任

前市長の辞職に伴う三原市長選は8月9日投票され、無所属（特定の団体や党派に所属していないこと）で新人の岡田吉弘（おかだよしひろ）氏が21,194票（得票率57.7%）を獲得し、初当選されました。岡田市長は大学進学を機に三原の地を離れていましたが、2年前に「三原をもっと良いまちにした。活性化していきたい」と志を胸にUターン（地方から都市に移住した人が、再び故郷に戻ることを）され「地域づくり、まちづくりはひとつから」という信念の元、教育系の団体を立ち上げるなど様々な活動を行われてきました。昨年の参院選をめぐり問題があり、三原の市政へ不信感が高まる中「三原の市政を刷新しなければ三原の発展は無い」と決意を固め、此度の市長選に立候補されました。今月のやっさもっさ新聞では、岡田市長が掲げられた7つの政策についてお届けします。

もともと知っている三原のこと  
**やっさもっさ新聞**

**9月号**  
2020.09.25  
Vol.475

発行所  
一般社団法人 三原青年会議所  
〒723-0052  
広島県三原市皆実4丁目8番1号  
三原商工会議所内2階  
TEL:0848-63-3515  
FAX:0848-62-1141  
mail:info@mihara-jc.com

編集  
広報教育委員会

YouTube facebook twitter

QRコードをよみこんで  
みはらJCのかつどうを  
チェックしてみよう!

三原テレビやSNS等で  
情報発信中!  
詳しくは4面をご覧ください



### 1. 子育て支援・教育の先進地域へ

情報化社会やグローバル社会で必要とされる人材を三原市から沢山生み出したいです。ノートパソコンやタブレットPCを学校環境に整備し、これらの端末を使いこなして先進的な教育を提供出来るようにしていきたいです。学校に通うことが出来ない事情を抱えている子どもたちなど誰一人取り残されることのない教育環境を目指していきたいと考えています。

- ・子育て支援コンシェルジュの配置等、多様な子育て支援を大幅に拡充
- ・産科・小児科医療の体制整備
- ・文部科学省GIGAスクール構想(※)を踏まえた子どもたちの学びの環境を充実
- ・子どもたちに多様な学びの機会を提供することで、三原市の教育力の底上げ

### 2. 安心感のもてる高齢者福祉政策

私の信条の一つは「政治・行政は困っている人の為にある」です。高齢者や障害のある方、虐待や貧困で苦しむ子どもたち、そして全ての市民の皆様も生活するうえで、それぞれ困った問題を抱えられていると思います。困っている人たちが、それぞれ役割を持って社会に参画して、それぞれの役割を果たして生きがいを持てるような環境づくりを進めていきたいです。具体的には、多世代の人が集まることの出来る場づくりを行うことで、皆が希望をもって生きていくことの出来る環境づくりを行っていききたいと考えています。

- ・住み慣れた場所での在宅医療
- ・介護を受けられる環境を整備

### 6. 中山間地域における暮らしの安心施策

中山間地域(平地から山間地にかけての傾斜地が多い地域)における活力ある暮らしをつくりていきたいと考えています。農業振興(農業を盛んにすること)は大きなテーマです。農林水産省が進めている農産物の安全基準の取得を推進していくなど三原で作った農産物が地域外で売れていくように様々な仕掛けを打っていきたいです。また、中山間地域で高齢者が安心して買物をしたり通院することが出来る地域公共交通政策(移動手段)における充実化を進めていきたいと考えています。

- ・農業振興(農産物の安全基準の取得推進、担い手の育成)、有害鳥獣被害の防止
- ・安心できる地域公共交通体系の構築

### 7. IT化推進による市民の役に立つ市役所へ

民間企業は既にデジタル化を推進しております。市役所も市民の役に立つためにデジタル化を推進していくべきです。IT(インターネットなどの通信と、コンピュータなどの情報機器を組み合わせて活用する技術の総称)の専門家を民間雇用し、ICT(IT技術の総称)。ITが経済の分野で使われることが多いのに比べ、ICTは主に公共事業の分野で使われることが多いです。ITとICTは、ほぼ同じ意味)政策を充実化させていきます。ICTの活用により、業務の効率化を図ることで、市の職員が「地域のニーズ」の把握に時間を割くことが出来ます。具体的には、マイナンバーカードを有効活用するなど全国に先駆けた事例を作っていきたいと考えています。

- ・障害者支援、虐待や貧困で苦しむ子どもたちの支援などを充実
- ・地域で楽しく暮らせる場づくりに支援

### 3. 地域経済の活性化策

三原が元気になることは、三原の中小企業や地場(三原)の産業が活性化することであると考えています。三原の中小企業が元気になるような様々な支援策を講じていきたいです。地域の産業の販売実績をつくる「トライアル発注制度」(地元の中小企業が開発したユニークな製品を自治体が試験的に購入したり、良さを認定したりすることで信頼性を高め、販路拡大につなげようという制度)の創設などを検討していきたいです。また、市長自らが三原市のPR(宣伝広告活動)マンとなって活動することで三原の魅力により多くの人に気づいていただき、三原の地に多くの人が訪れるようにしていきたいと考えています。

- ・民間経験を生かしたスピード感ある企業支援と経済団体との連携強化
- ・市内企業の新商品を市役所が優先的に発注し、販売実績を作るトライアル発注制度の創設
- ・市長自らがセールスマンとなって企業誘致を推進
- ・雇用創出・仕事づくりの推進(サテライトオフィス誘致の推進、フリーランスや起業家の移住推進)

### 4. 新たな三原市を作る都市政策

三原には、山・海・川をはじめ歴史や文化など魅力的なコンテンツが沢山あります。これらの魅力的なコンテンツを活かして、三原市民や市外の人たちが歩いて楽しめるようなまちづくりを進めていきたいです。また、キオラス

- ・ICT活用による業務効率化、生み出した時間を地域ニーズ把握に転用
- ・CIO補佐官の民間登用(情報化統括責任者補佐官)
- ・ウィズコロナ時代における全国に誇れるICT政策(マイナンバーカードの有効活用)
- ・行政デジタル化集中改革

※引用文献おかだ 吉弘 オフィシャルサイト <https://www.yoshihiro-okada.com/>、2020

以上が岡田市長の掲げられた7つの柱(政策)です。8月9日から4年後までの任期の間、上記の政策に取り組みます。ところで三原市が策定した「三原市長期総合計画」三原市ホームページで閲覧可能をご存じでしょうか。将来のまちの姿を明らかにし、市民と市が協働しオール三原で実現をめざして取り組む2015年から2024年までのまちづくりの指針です。その中で三原市はこれからの5年間で「持続可能なまちづくり」を目指し、「人口9万人の維持」と「市民満足度の向上」を目標に掲げ様々な取り組みや改革を行っていくと言われています。皆様もこれからの三原市がどのようなようになっていくのか不安や期待など様々な想いを感じているのではないのでしょうか。日本は民主主義で政治体系を築いています。クラスで何かを決めるとき、みんなで意見を出し合い多数決という方法をとることがあると思いますが、簡単に言うとその民主主義の仕組みになります。三原市政においても同じことで三原市を良くしていくためには市民である皆様の声が必要です。三原青年会議所では、三原のまちを明るく豊かなものにしていくためには、若者の皆様がまちづくりへ参画していくことが必要であると考えています。参画していくためには、まず「知る」ことが大切です。

クエアのオープンを一つのチャンスと捉え図書館で親子で楽しめる教育イベントを開催するなど三原の活性化に向けた取り組みを進めていきたいです。また、空き家などの問題も多く存在しています。移住支援を進めることで空き家をリノベーション(既存の建物に大規模な工事を行うことで、昔ながらの住まいに新しさを取り入れ、魅力を向上させたり、価値を高めたりすること)して新しい三原市をつくっていくことを目指していきたいと考えています。

- ・駅前施設の誕生を革新のチャンスと捉え、人が集まる中心市街地の再生
- ・歴史・文化を生かした「歩きたくなる街」を目指した環境づくり
- ・移住を促進するための空家活用の支援および倒壊危機空家の除却

### 5. 市民とともに進める地域の防災・防犯対策

気候変動によって災害が発生しやすい環境になってきています。毎年のように災害が起きる前提で施策を打っていく必要があると考えています。2年前の平成30年7月豪雨災害の爪痕はまだ残っていますが、完全なる復旧を最優先で取り組んでいきたいです。また、地域における防災組織が高齢化してきています。SNSで配信を進めるなど若い世代の人々の防災意識を高め、地域全体で災害に強いまちづくりを進めていきたいと考えています。

- ・西日本豪雨災害の完全復興・復旧
- ・自主防災会の活性化と未整備地区への支援
- ・SNS等を活用し、共助を促進する情報提供体制を確立

市長の掲げられた政策や三原市の指針、また自分が日々の生活の中で感じるまちの課題や問題など。三原のまちを創るのは私たちです。どうすれば三原のまちがより良くなっていくのか共に考えてみませんか。

### 「A」やさもっさチャンネル 8月号

三原青年会議所の広報番組「やさもっさチャンネル」メインコンテンツである「ダイブ・ミハラ」8月号は特別編として、新三原市長と当青年会議所勝村理事長の対談を行いました。岡田市長の掲げた政策や今後の市政運営とは。また、市長の人柄にも迫りました。番組をご覧になりたい方は当青年会議所ホームページにて公開していますので是非、ご覧下さい。次回は10月放送です。



三原市長に聞く